

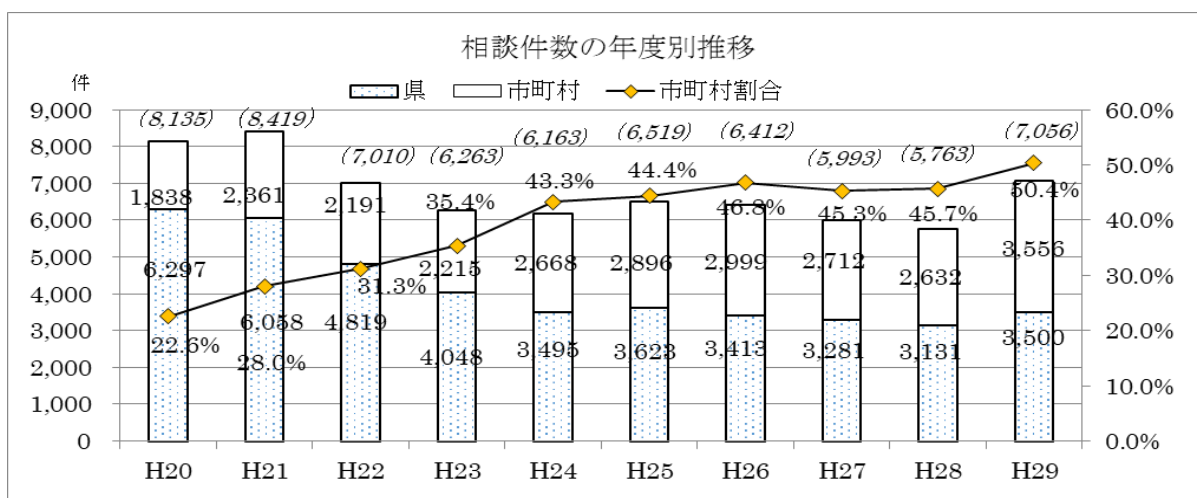
平成29年度消費生活相談の概要について

平成30年5月29日
消費生活センター

1 概況

- 平成29年度の県消費生活相談窓口への相談件数は、3,500件。前年度比で11.79%(369件)増加した。
…商品一般(身に覚えのない請求、不審電話等)に関する相談が増加した(相談数679件、前年度比537件増)。このうち、架空の訴訟案件を記載したはがきの送りつけに関する相談が大幅に増加(相談数約450件)。一方、インターネット通信サービスに関する相談が減少した(相談数120件、前年度比56件減)。
- …市町村消費生活相談窓口への相談件数は、3,556件。前年度比で35.11%(924件)増加した。
- 年代別では、50歳代・60歳代・70歳以上の相談件数が増加し、40歳代以下の年代では減少した。
…増加した相談内容は、商品一般(身に覚えのない請求、不審電話等)。

2 相談件数の年度別推移



3 県の年代別相談状況

区分	H29 (%)	H28 (%)	差引 (ポイント)	年代別の最多相談内容
19歳以下	19 (0.5)	24 (0.8)	△ 5 (△ 0.3)	放送・コンテンツ等
20歳代	139 (4.0)	156 (5.0)	△ 17 (△ 1.0)	放送・コンテンツ等
30歳代	352 (10.0)	360 (11.5)	△ 8 (△ 1.5)	放送・コンテンツ等
40歳代	492 (14.1)	515 (16.4)	△ 23 (△ 2.3)	放送・コンテンツ等
50歳代	770 (22.0)	615 (19.6)	155 (2.4)	放送・コンテンツ等
60歳代	836 (23.9)	678 (21.7)	158 (2.2)	商品一般
70歳以上	657 (18.8)	525 (16.8)	132 (2.0)	商品一般
不明	235 (6.7)	258 (8.2)	△ 23 (△ 1.5)	
計	3,500 (100.0)	3,131 (100.0)	369 (0.0)	

4 主な相談内容

順位(前年)	相談内容	件数(%)	前年件数	最多年代
1 (1)	放送・コンテンツ等(アダルト・有料情報サイトからの料金請求等)	718 (20.5)	682	50歳代
2 (5)	商品一般(身に覚えのない請求、不審電話等)	679 (19.4)	142	60歳代
3 (4)	相談その他	176 (5.0)	167	70歳以上